

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18
日本は常に技術革新による経済成長を目指すと思いますか？	日本は輸出で儲けて、食料は輸入すれば良いと思いますか？	日本の経済力があれば、国民が飢えることはないと思いますか？	日本は農政を立て直して、農家を援助すべきだと思いますか？	日本は農業を保護して、食料自給率を高めるべきだと思いますか？	日本は制度を改革して、若者の就農を支援すべきだと思いますか？	日本人は食料自給率のためにお米を食べるべきだと思いますか？	義務教育での農業実習必修化は検討すべきだと思いますか？	近場に農地があったら週末農業や半農半Xをしたいと思いますか？	失業したら、農業にもチャレンジしてみたいと思いますか？	日本も遺伝子組み換えで食糧増産を図るべきだと思いますか？	化学肥料や農薬は、正しく使えば問題はないと思いますか？	近い将来、世界的な食料の需給逼迫はあり得ると思いますか？	気候変動は、世界的な食料危機に影響すると思いますか？	水源の枯渇は、世界的な食料危機に影響すると思いますか？	石油の需給逼迫は、世界的な食料危機に影響すると思いますか？	日本も食糧危機に備えて、他国の農地を買うべきだと思いますか？	人口爆発は、人類の叡智のよって克服できると思いますか？
n	n	n	y	y	y	y	y	n	n	n	y	y	y	y	y	n	y
y	n	y	y	n	y	n	n	n	n	y	n	n	y	y	y	y	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	n
y	n	y	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	y
y	n	n	n	y	y	y	n	?	n	n	n	y	y	y	y	y	n
n	n	n	y	y	y	y	y	y	?	n	n	y	y	y	y	n	n
y	n	y	y	y	y	y	n	y	y	n	y	y	y	y	y	y	y
y	n	n	n	n	y	n	y	y	y	y	n	y	y	y	y	n	?
?	n	n	y	y	y	y	n	y	n	n	n	n	y	y	y	n	?
y	?	n	y	y	n	n	y	y	y	n	n	y	y	y	n	n	n
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	n	n	y
?	n	n	y	y	y	y	y	y	y	?	?	y	y	y	y	y	y
n	n	n	y	y	y	n	n	y	n	n	n	y	y	y	y	n	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	n	n	n	y	y	y	y	y	y
n	n	n	y	y	y	?	y	y	y	n	n	y	y	y	y	?	n
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	n
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	y	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	?
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	?
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	?
y	y	y	n	n	n	n	n	y	n	n	y	n	n	n	n	n	n
n	n	n	y	y	y	y	y	?	?	n	n	y	y	y	y	n	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	n
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	y	n	n	y	y	y	y	n	y
n	n	n	y	y	y	y	y	y	n	y	y	y	y	y	y	y	y

農政について疑問があれば、300文字以内でご記入ください。

票のために保護すること、生活のために補助金を少しでも多くもらうことが見え見えなのに嫌悪感があります。
感傷的に、農業は資本主義と対極の人間らしい体験であるとか、田んぼは日本風景の原点だ、というより、戦略的に日本の農業の競争力を高める政策を取り、一大産業に育てるための議論が必要かと思えます。
産業として自立し、国に大きな貢献をする、ぐらゐの気構えが必要だと思います
農家が自らよいものを作ってもJAに持って行けば他のものと同じに混ぜられて売れる仕組みがある限りよいものを作ろうと努力をする農家はいない(特に米)。農業の質が上がらない流通は問題のある農業や化学肥料の抑制に外から声をあげても何ら改善はしない。農家は安易に今までやってきた通りに作ればそれに越したことはない。農業人の高齢化がチャレンジする気力を無くしている。
世界的にみれば小さい国土の日本が農業使用量世界No1にいながら、次いで農業使用量No2の韓国のように、有機にシフトを変えないこと。(韓国はアトピーやその他の病気の蔓延から、その原因が食にあることを理解してシフトしている)
食料自給率が低い原因として、価格競争力の問題が有るといわれていますが、国内農業の効率化について今後取り組む意図を農政として考えているのでしょうか。
農家を個別に応援する今回の制度導入(戸別所得補償)が、どういふものかを100%は理解していませんが、農家への減反の見返りとしてのいわゆる子供手当みたいなものだと思っています。そうであれば、意味の少ない制度だな、と。具体的代案はありませんが、国家として食糧危機への現実を見た施策を作るべき。私は、大規模・工場的な食糧生産～物流～販売と、地産地消のMIXだと思っています。古きよき、を残している場合ではない。

何故、農業を保護しないで、農家を保護するのか?順番が逆なのは?

戸別保障制度みられるような経済活動である農業を守ることは必要であるが、その基盤となる農地や水資源、水路などの施設などの農資源を保護する政策が薄いと思われる。

消費者として、地産地消、有機栽培、NONGMO、非遺伝子組み換え食品などの購入に勤めています。輸入品の単価が安すぎて、どうしても比較しがちになります。生活は楽ではありません。(娯楽や嗜好品の買い物はほぼなし)

大規模農業(農業法人など)を優遇する政策は経済活動を優先する姿勢と受け取れます。今後の農業は経済ではないと思うのですが、いかがでしょうか?

「若者の就農支援」など、既に少しずつ始まっていると思いますが、そういう情報の発信が下手なのか、一部の人しか知らない状況なのかと思っています。

海外の農地を買って、国民の食料を確保しようとする以前に、なぜ減反政策を撤回して、国内での農地を蘇らせることを考えないのでしょうか?

農政について提案があれば、300文字以内でご記入ください。

農産物の自由化FTA, EPAを進めそうな現政権とJAに大きく依存している市場、この巨大な2つ力から農業が解き放たれる日は来るのでしょうか。自分たちの力でやるしかありませんね。

農業を農業としてだけ捉えていては現状農業が抱える問題は何も解決しないので、国政の中で農業そのものの位置づけを明確にし、活性化して欲しい。その先に病気も減り、結果医療費の大幅削減は必ず実現する。

休耕地を活用して大規模事業化する検討を規制緩和して進めると同時に、小規模な農業活動を育成して維持する事とセットで、進めるべきかと思えます。このような検討が農政として必要ではないかと思えますが、今後の日本人の食の調達セキュリティを高めるには、大規模・工場的な食糧生産～物流～販売と、地産地消のMIXが必要と思っています。

農業は食べることで、お金には変えられないこと。欧米では農業は軍事政策くらいの考え方がある。農政だけでなくほかの政策との関係の中で農業の位置づけがあると思う。全体像を想像して、日本がどういふ国になりたいのかを出していかないと全ての政策が出来上がってこないと思う。

国営も考えましょう。効率を落とさず、セイフティネットの役割の可能性も考慮し。

まず、農業は単独で考えるのではなく、周辺の環境、林野、河川水路、生物多様性、環境、食料自給率、さらには、産業構造、教育、福祉などと合わせつつ、その中心課題として考える必要があると思います。その上で、ピークオイルを念頭におきながら、持続可能な農業はどういふものかを考え、その路線を突き進む他ないと思います。

石油、科学メジャーのための農政に終止符を!まずは、有機のあいまいなルールを、諸外国のオーガニックの基準まで上げる事
農業および農資源を守る政策を厚くしてほしい。

農協の業務実績の透明化。公開。

どうしてもFTAを広げていくのなら、日本の農家を保護する政策をするべきだと思います。

大規模農業(農業法人など)を優遇する政策は有るようですが、小規模農業(個人)を優遇する政策が無いように思います。今後、農業を発展させてゆくには、地方に点在する個人の存在は無視できないと感じています。農業政策を見直すのであれば、小規模農業への支援政策も検討願います。

もっと、その辺がうまくできて、都市の生活に違和感を感じてる人が、気楽に農業体験からはじめられるようになればいいなと思ってます。

農林業を生業としてのみ捉えるのではなく、国土の保全、生物多様性の保護、安全・安心な水や食の生産による病人の削減など、もう少し広い視点で捉えてはいかがでしょうか?その視点に立つとき、農業においては、無農産物の食の生産を推進しようということになると思いますが、林業においても皆伐ではなく、択伐などより、その地域に暮らす人間と自然が調和して生きることのできる社会が作れるのではないのでしょうか?

現状の食料品の価格が不当に安いと思っています。消費者が正しい価格を負担できれば問題ないと思いますが今の日本の社会、雇用と労働の問題を考えると難しいことだと思います。それで、もともと生産者不当な負担を強いられているという認識を消費者にもひろめた上で消費者が本来負うべき負担分を税金で負担する。生産者だけが得をするといったものではない、ということを理解してもらわないと上手くいかない、と思います。

減反政策(補償)が一通り終わった。しかし予算は減額したくない。そこで「バイオマス促進事業」へと衣替えして「新規予算」を確保した。その手法の継続は止めるべきだ。補助金は自立まで見届ける予熱装置である。自立を見届けない政策は無意味である。自立後の継続は自己責任で行うビジネスである。一次産業は一貫性のある産業である。土地が狭く人件費が高くてもよそへ移動できない。その土地で踏ん張るしかない。誇りが持てる一次産業のあり方、一次従事者の社会的地位を明確に打ち出すべきである。そもそも農家は食料品を、エネルギーを絞るだけの材料にしたくないのだから。繰り返します。農政は、「戦略物資を扱う最重要な政策ですから。一度、減反した田んぼは死んで二度と戻らない。戻すにはかなりの智恵とお金がかかる。」自分はやらないからいいや、どうせ百姓がやるだろうから。そうした多くの他人の人生を、後世の世代の人生を大きく左右するという責任を忘れないで下さい。

安い食料を輸入することで、自立ができなくなり、より多くのCO2を排出し私たちの生存をより危険にしているのではないのか？

日本の農業をそもそもどのような産業として育成していきたいのか、そのビジョンが見えないように感じています。日本の国益として何に貢献するために自国の農業を発展させていきたいと考えているのかを知りたいです。

大規模化では中山間地域の農業は救えません。若人が入っても子どもを教育し病院に通えるだけの収入を与えるような事業体系にしなければ、人は増えません。

大規模農業を目指すのは、山間部が多い日本では不可能です。農薬、遺伝子組み換え、F1…すべてが悪循環です。小さな農家がたくさんいることが日本の農業として持続可能。政策転換してください。高齢化と後継者不足に苦しむ生産者を「価格安」の波が襲う。これを支える食料の大量輸入に衰える兆しはない。10年後に「国産」の食糧が消えてしまう恐れもある。という記事を読んで、疑問を感じています。政策を変えていかないといけないのではないのでしょうか？種ビジネスを排除出来るよう規制をかけるべき。

まず「単なる米国産種子や化学肥料、国内農機メーカーの中間商社になった農協」のあり方を見直せ。次いで「農政の基本は地域社会のインフラ整備」です。後継者となる「農学部」の共通学生寮を全国各地で造るなど、取り組みを開始しなさい。生き物あいての酪農家は、日帰り旅行にも、同業者の代打出勤を頼み(有料)、盆も正月も葬式の時も法事の後も毎日同じ時間に同じ搾乳作業をくり返し、くり返す。手取りで一人年収200万~400万円。農機は1,000時間で壊れるよう設計されており、ほぼ10年間で一斉入れ替え。一台が数千万円(大型バス一台相当)の高級乗用車並み。「固定資産税は宅地並みに取れ」「漁船は重量税を乗用車並みに取れ」(排水量に応じ)。しかし「あらゆる物納をみとめよ」かつ「所得税は無税にせよ」と提案します。だいたい農家や漁師は、たにまちのいない閑取みたいなもんで、実態がよくわからない。そこが日本の文化独特の「助け合い精神」の発揮どころ。そうでなければ、どこ誰が低賃金、重労働の一次産業に従事しますか？ただその仕事が「好きだ」という一点だけでしょ。一次産業とは、「重要無形文化財」のひとつなんだから。

食料の輸入は段階的に減らしていき、自立できるように成るべき。日本の食料の大量輸入が現地で飢餓や貧困を引き起こしている。食料についていえば、輸入は悪だと思います。

日本農業は土地規模的に大規模大量生産には向いていないので、食糧自給率のような「量」を追求する考え方は未来はないのではないかと考えています。工業的な発想から工芸的な発想への転換に期待します。カロリーベースの自給率の向上なんかにかまっている余裕はないはずだ。

単純に農家に支援金を渡すのではなく、農業研修性を受け入れる労務の報酬として出せばよいと思う。教える必要はなくシャドウイングでよい。そしてほとんど若者や就農希望者に研修を受けさせるとよい。また、相続税を100%のして、実際のうちとして活用されている土地以外の財産の配偶者への遺産相続以外は国が接収するようにして、農地の活用度を上げればよいとおもう。これで、相続による生まれながらの格差も是正されるのでは。

地方自治体が保証を与えて地域特性を生かした農地等の活用ができること。新規参入者にサポートを継続する態勢を作る。ニーズ開拓と品種・栽培・加工技術の開拓と教育・支援。都市と直結した受注・販売ネットワーク。これらの実現のための「地域マネジメント法人」の設立(行政改革と法令整備)。

一番はじめにすべきことは農業委員会をなくし、市への届出制にかえ農地の取引を自由化すべきと考えます。今の農業委員会は役所の中に事務所を持ちながらも、市の服務規程に拘束されません。委員会自体の業務はわずかにもかわらず、市の3名の職員が常駐しています(私のいる埼玉県狭山市)。さらに、農業委員には月に一回の会議で4万円を超える手当てを出しています。5000m2以上の農地を有していないと農地の取得すらできないことから変えていけば、農地の取引が活性化し意識の高い組織に農地が集積すると考えます。

農家さんの収入増加政策。農産物輸入自由化をある程度で歯止めをかける。新規就農者の支援国民総農コミットに向けてゆく。

日本の自給率を上げるための政策が必要だと思います。小規模農家にも補助金が出るような仕組みができればいいと思います。

農水省、JAのために農業があるのでない、国民が安心安全な食生活を送るためにはどうしたらいいかの視点で業務を行っていただきたい。(提案というよりは要望でした…)

* 農政緊急アンケート / 実施期間：2010年3月17日~23日 n=38